

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立新東三国小学校

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は教職員の指導の甲斐もあり、安全で落ち着いた学習環境を維持できている。児童も校則を守り、学習規律に則って授業を受けることに努めている。地域の方々も登下校時見守りを行っていただき、地域で児童の安全を見守っていただいている。

いじめ、不登校については、保護者、地域とも連携し、解消あるいは未然防止に努める等、推進していく必要がある。

- ・令和7年度の大阪市小学校学力経年調査では、6年生は大阪市の平均点を下回った。5年生は国語科で大阪市より 0.2pt・全国平均より 1.9pt 上回ることができた。4年生では算数科で大阪市より 0.7pt、全国より 2.5pt、3年生では社会で大阪市より 3.9pt、算数科では大阪市より 6.9pt、全国より 5.1pt 上回ることができている。
- ・体力面については全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男子では「上体起し」「反復横跳び」「20m シャトルラン」「50m 走」「ソフトボール投げ」で大阪市・全国を上回り「体力合計点」では大阪市より 3.4pt、全国より 1.9pt 上回っている。女子では、「反復横跳び」で大阪市より 1.8pt 上回ることができた。体力面についても、課題解決の取組は必須である。
- ・ティーチング・エンパワーメント事業等を活用し、国語・算数・理科の授業力向上を図り、児童の学力向上をめざす。
- ・道徳科の授業研究を進めながら、教職員の指導力向上を図り、「個別最適化の学び」の授業づくりを推進している。
- ・学校のきまりである「廊下・階段を走らない」「右側通行」の徹底を図るために、いろいろな場面での声かけに努めている。階段に英語や九九のプレートを貼り、視覚的に「右側通行」を意識できるよう努めている。令和8年度も「学校のきまり」に関し、指導を継続していく。
- ・若手教員の増加により、若手教員育成を推進していく。「ティーチング・エンパワーメント事業」のスクールアドバイザー(SA)と連携し、OJT(校内研修)の活性化を図る。
- ・インフルエンザや感染症等による学校行事等の影響下での学力保障を図る必要がある。
- ・一人一台学習者用端末の持ち帰りやデジタルドリルの活用を図っていく。
- ・地域や保護者との連携のしかたを検討する。  
(デジタル教材の活用・保護者への周知・地域の方との協働による防災活動等)

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。  
(基本的な方向2 豊かな心の育成)
- 令和 11 年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)
- 令和 11 年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。  
(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)
- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。
- 令和 11 年度の児童アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。 (R6 89.3% / R7 94%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。  
(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。  
(R6 74.9% / R7 73.4%)  
(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。  
(R6 68.7% / R7 69%)  
(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70%以上にする。  
(R6 66.6% / R7 68.5%)  
(基本的な方向5 健やかな体の育成)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。  
(基本的な方向6 教育 DX の推進)

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、78%以上にする。 (R6 79.2% / R7 76.7%)  
(基本的な方向 8 生涯学習の支援)
- 令和 11 年度の教員の 1 カ月あたりの平均時間外勤務時間を月 24 時間以下とする。  
(基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

(基本的な方向2 豊かな心の育成)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 85.4% | 89.1% |      |

- 令和8年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

| 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 |
|------|------|------|
| 5.4% | 4.6% |      |

- 令和8年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

| 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 |
|------|------|------|
| 1.7% | 2.0% |      |

- 令和8年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。

| 令和6年  | 令和7年 | 令和8年 |
|-------|------|------|
| 87.6% | 80%  |      |

- 令和8年度の児童アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

| 令和6年  | 令和7年 | 令和8年 |
|-------|------|------|
| 89.3% | 94%  |      |

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和8年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

○令和8年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 74.9% | 73.4% |      |

○令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

| 令和6年  | 令和7年 | 令和8年 |
|-------|------|------|
| 68.7% | 69%  |      |

○令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

(基本的な方向5 健やかな体の育成)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 66.6% | 68.5% |      |

### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和8年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を25%以上にする。

(基本的な方向6 教育DXの推進)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 19.2% | 23.9% |      |

○令和8年度の教員の1週間あたりの平均時間外勤務時間を週20時間以下とする。

(基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

○令和8年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、78%以上にする。

(基本的な方向8 生涯学習の支援)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 79.2% | 76.7% |      |

(様式2)

大阪市立新東三国小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

### 年度目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

(基本的な方向2 豊かな心の育成)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 85.4% | 89.1% |      |

- 令和8年度の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

| 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 |
|------|------|------|
| 5.4% | 4.6% |      |

- 令和8年度の年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

| 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 |
|------|------|------|
| 1.7% | 2.0% |      |

- 令和8年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。

| 令和6年  | 令和7年 | 令和8年 |
|-------|------|------|
| 87.6% | 80%  |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況 |
|---|------|
| <p><b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>「学校安心ルール」の徹底を行い、児童が安心して過ごせる教育環境の実現を図る</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケートを年3回行い、「ある」と回答した児童への速やかな対応を行い、指導をした割合を100%とする。また、聞き取り、対応、指導を行った内容について100%記録し、その後の教育活動や指導に生かせるようにする。ただし、解決に時間を要する事案については、いじめ対策委員会に報告し、いじめの解消に向けて全教職員で取り組み、解決率を100%にする。</li> <li>・一人一台学習者用端末の相談機能を毎日確認し、相談があった場合は100%対応することでいじめ等の早期解決を図る。</li> <li>・毎月の生活指導連絡会や子どもサポートネットやケース会議で児童の様子を報告し、共通理解を図り、組織的に課題への対応にあたる。</li> <li>・7日連続欠席者に対して、家庭訪問による安否確認及び欠席理由の確認を必ず行う。</li> </ul> |      |
| <p><b>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</b></p> <p>異学年交流や係活動、委員会活動や道徳教育、地域交流などを通して、児童が自分のよさに気付く体験の場を設ける。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会が児童会目標の達成に向けた活動を年1回以上企画・運営する。</li> <li>・全学年で、異学年交流を年に5回以上行う。</li> <li>・児童会を中心としてお互いの良さを認め合い、終了後に振り返りを行う取組を年3回行う。</li> </ul>   |      |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析   |      |
|   |      |
| 後期への改善点   |      |
|   |      |

(様式2)

大阪市立新東三国小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

|   |       |      |
|---|-------|------|
| <b>年度目標</b>   |       |      |
| <b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b>  |       |      |
| ○令和8年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。<br>(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上) |       |      |
| ○令和8年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。<br>(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)                       |       |      |
| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
| 74.9%   | 73.4% |      |
| ○令和8年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。<br>(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)                  |       |      |
| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
| 68.7%   | 69%   |      |
| ○令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。<br>(基本的な方向5 健やかな体の育成)   |       |      |
| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
| 66.6%   | 68.5% |      |

|  |      |
|--|------|
| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 達成状況 |
| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況 |
| <b>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b><br>ティーチング・エンパワーメント事業等を活用し、国語・算数・理科の授業力向上を図り、児童の学力向上を図る。 |      |
| <b>指標</b> ・ティーチング・エンパワーメント事業等を活用した研修を年間6回以上実施する。   |      |

|  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語・算数・理科の授業で、目的をもって話し合う活動を設定する。年度末の国語・算数・理科を授業する教員への聞き取り調査で「授業回数の7割以上話し合う場を設定できた」と回答する。</li> </ul> <p>(※10回授業のうち、7回話し合う場の設定ができるようにする)</p>  |  |
| <p><b>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定に向けた取組を3年以上の学級で実施する。</li> <li>・国語科などの学習で、文章のまとめや書き手の考えをノートに書き写す時間を設定したり、自分の考えやわかったことを書く時間を設定したりする。</li> <li>・継続して全学年で英語音声指導に取り組むと共に、英語タイムの指導法・教材等を工夫する。また、児童の英語力を向上させ、英語が楽しいと感じられるようにする。</li> </ul>  |  |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習等を活用した漢検への取組を5回以上実施する。</li> <li>・国語科などの学習で視写や自分の考えを書く時間を各単元1回以上実施する。</li> <li>・英語タイムを週2回以上実施する。</li> </ul>   |  |
| <p><b>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことに喜びを感じ、進んで体力づくりに取り組む子どもの育成に努める。</li> <li>・「食に関する指導の年間計画」に基づき、食に関する児童の興味・関心を高める。睡眠・清掃などの生活習慣などに焦点をあて、日々の生活を見つめられる子どもを育てる。</li> </ul> <p>(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>   |  |
| <p>指標</p> <p><b>【運動】</b>・児童が多様な運動種目にふれ、興味・関心をもって積極的に運動に親しめることができるように、年5回の運動週間(マッスル週間・かけ足週間・なわとび月間など)を設定する。</p> <p><b>【食育】</b>・学年ごとに作成する「食に関する指導の年間計画」に基づき、学年ごとの目標を設定し、年間3時間程度の食育の学習を行い、食に関する児童の興味・関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級で給食目標や給食だより等を用いて、食に関する指導を月1回以上行う。</li> </ul> <p><b>【清掃】</b>・委員会児童による清掃チェックを学期に1回以上行い、環境整備に努め、清掃を進んで行う児童を育てる。</p> <p><b>【健康】</b>・各学級で保健だよりや保健の月目標等を用いて、健康に関する指導を月1回以上行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康的な生活習慣について、児童や保護者の意識を高めるために、「生活ふりかえりカード」を活用した取組を年に2回行い、保健だよりで結果を知らせると共に、児童へ指導する。</li> </ul> |  |
|  |  |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |  |
|                         |  |
| 後期への改善点                 |  |
|                         |  |

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した  | B: 目標どおりに達成した           |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

## 年度目標

## 【学びを支える教育環境の充実】

○令和 8 年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 25%以上にする。

(基本的な方向 6 教育 DX の推進)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 19.2% | 23.9% |      |

○令和 8 年度の教員の 1 カ月あたりの平均時間外勤務時間を月 25 時間以下とする。

(基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

○令和 8 年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、78%以上にする。

(基本的な方向 8 生涯学習の支援)

| 令和6年  | 令和7年  | 令和8年 |
|-------|-------|------|
| 79.2% | 76.7% |      |

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

達成  
状況

## 【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の 50%以上にする。(R6 26.6% / R7 71.9%)

・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を昨年度と同等以上にする。

(R6 85.7% / R7 100%)

(※基準 1 次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにする。

イ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにする。)

・学習者用端末を活用した学習を週 2 回以上実施する。

・児童アンケート「道徳科の学習で、しっかり考えることができた」の項目で肯定的回答を昨年度と同等以上にする。(R6 94% / R7 93%)

・校内研修を活性化させ、若手も経験年数の多い教員も一丸となって「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを推進する。

・「特色ある図書館の活用」の実現を図る。

|   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の推進を図り、児童アンケート「本をよく読んでいる」の項目において、肯定的回答を70%以上にする。(R6 71% / R7 69%)</li> <li>・生涯学習ルームや地域活動協議会との連携による安全で安心な教育コミュニティを形成する。</li> </ul> |  |
|---|--|

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況 |
|--|------|
| <p><b>取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</b></p> <p>ICT機器の活用を検討工夫し、考えを表現するためのプレゼンテーションを行ったり、一人一台学習者用端末を活用した学習に取り組んだりする。(ICTを活用した教育の推進)</p> <p><b>指標</b> ・ICT機器を活用して、自分の考えをプレゼンテーションしたり、他者の考えを受けて、意見交流する場を設定したり、デジタル教材を活用したり、プログラミングに取り組んだりする総時数を、1年は年間10時間以上、2～3年は年間12時間以上、4～6年は年間15時間以上実施する。</p>                    |      |
| <p><b>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>「学校園における働き方改革アクションプラン」に沿って、負担軽減に向けた取組を推進する。(働き方改革の推進)</p> <p><b>指標</b> ・ゆとりの日を月4回以上設定する。</p> <p>・令和8年度の1か月の時間外勤務平均時間が45時間を超えない教員を100%にする。</p>  |      |
| <p><b>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>・授業研究を進めることで、教職員の指導力向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを推進する。</p> <p>・全員公開研究授業の中で、お互いに学びあい、日々の授業改善に生かしていく。(教員の資質向上)</p> <p><b>指標</b> ・授業研究を年間6回以上実施する。</p> <p>・全員公開研究授業を年間1回以上行う。</p> <p>・メンターを中心に、指導法の研修・研究を進め、年間10回以上の公開研究授業を実施する。</p>  |      |
| <p><b>取組内容④【基本的な方向8、生涯学習の支援】</b></p> <p>・「特色ある図書館の活用」を実践するために、委員会による学校図書館の毎日開館や地域ボランティアの協力を得ながらの朝の読み聞かせ等を実施する。</p> <p>・「読書ノート」の活用や月ごとに読書目標達成者の表彰や発表等を行い、読書活動の推進を図る。(学校図書館の活性化)</p> <p><b>指標</b> ・学校図書館の開館日数を授業日の90%以上にする。</p> <p>・朝の読み聞かせを月1回以上実施する。また、年2回以上、読書週間を実施する。</p> <p>・「読書ノート」の達成者を40人以上にする。(R6 63人 / R7 36人)</p> |      |
| <p><b>取組内容⑤【基本的な方向9、家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</b></p> <p>生涯学習ルームや地域活動協議会との連携による安全で安心な教育コミュニティを形成する。(教育コミュニティづくりの推進)</p>  |      |

|   |  |
|---|--|
| <p>指標 ・地域合同防災訓練や新東三国イングリッシュデイなど、地域や保護者と協働したり、交流したりする行事を、学校全体もしくは学年で立案し、年 3 回以上実施する。</p> |  |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>  |  |
|   |  |
| <p>後期への改善点</p>  |  |
|   |  |